

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (東北)	◎	－	－
	○	商店街（代表者）	・夏祭りなどイベントが増えるため、観光需要が増加する。
	○	一般小売店〔医薬品〕 （経営者）	・来客数の減少は続いているが、暑くなると身体が不調になる人が多くなるため、販売量は増えるとみている。
	○	スーパー（店長）	・備蓄米の放出により米の価格が下がれば、可処分所得は増えるとみている。
	○	コンビニ（経営者）	・客は商品の値上げは織り込み済みで抵抗はないようである。客単価、買上点数、来客数共に伸びている。気温が上昇すれば、一層アップしそうな状況である。前月は米も動いていたが、今は落ち着きほとんど動いていない。
	○	コンビニ（経営者）	・来客数に変化がなく、前年と同じように暑くなれば、景気はやや良くなるとみている。
	○	コンビニ（経営者）	・気温が上昇することと夏祭りがあるため、売上は上がる。後は廃棄と人件費をどれだけ抑えられるかに懸かっている。この時期に稼げないと冬は借金経営になる。また、最低賃金が大幅に上がるようなことがあれば、経営継続は困難になる。
	○	コンビニ（エリア担当）	・夏のイベント開催に加え、天候も例年より暑くなるとの予報で、来客数は増加するとみている。
	○	コンビニ（店長）	・米の価格が安定することで、経済的にも心理的にも上向くとみている。
	○	家電量販店（従業員）	・6～7月はエアコンの最需要期だが、前年、前々年と売上、販売数共に前年を下回った。梅雨入り、梅雨明けのタイミングや気温上昇が鈍いことも要因の1つとして捉えている。今年こそ早めの梅雨明けと気温の上昇により、エアコン需要が回復することを期待している。
	○	乗用車販売店（従業員）	・7月頃からオーダーを再開できる車が2車種ほど増えるため、少し上向くとみている。
	○	乗用車販売店（店長）	・来客数は徐々に増えており、顧客の消費マインドも上向いている。特に必要な修理部品には金を惜しまずかけているため、サービス部門の売上が前年比120%と大きく改善している。
	○	住関連専門店（経営者）	・受注残があるため、販売量は増加する。
	○	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・ゴールデンウィーク商戦では人流増もみられ、期間全体で来客数は前年比106.5%と好調であり、7～8月の夏休み商戦も期待できる。
	○	一般レストラン（経営者）	・予約の入り具合がコロナ禍の前に近くなっている。客の動きが良かったため、やや良くなるとみている。
	○	都市型ホテル（支配人）	・インバウンド及び夏休みの国内旅行の先行予約が好調である。
	○	旅行代理店（従業員）	・先行予約の状況も悪くないため、夏のボーナス支給後の旅行消費額はやや良くなるとみている。
	○	通信会社（営業担当）	・ガソリン価格や光熱費に対する補助、米価高騰対策により、多少は良くなるとみている。
	○	テーマパーク（職員）	・1番の繁忙期になるため、来客数、買上率、客単価はアップするとみている。
	○	美容室（経営者）	・公務員と上場企業は賃上げなどにより夏のボーナス支給額が増加する。また、参議院選挙における景気対策も出そう。消費にはプラスに働くとみている。
○	その他住宅〔リフォーム〕（従業員）	・住宅設備機器は、気温上昇に伴い、エアコンの交換に関する問合せが増える。リフォームは、補助金対象の工事の問合せが増える。とみている。	
□	商店街（代表者）	・米の価格が2倍以上になり、飲食店や家計に大打撃を与えている。米などの物価上昇を抑えない限り、景気は変わらない。	
□	一般小売店〔酒〕（経営者）	・この先、物価高や米国の関税政策に伴うマイナスの影響がどれだけ消費マインドに影響するのかという不安がある。プラスの影響は当面ないとみている。	
□	一般小売店〔寝具〕（経営者）	・商品の動きが鈍い状況は変わらない。	

<input type="checkbox"/>	一般小売店〔書籍〕（営業担当）	・社会情勢や業界において、プラスの材料が見当たらない。
<input type="checkbox"/>	百貨店（企画担当）	・物価高の影響もあり、引き続き高額品を中心に景況感は厳しさを増すとみている。
<input type="checkbox"/>	百貨店（営業担当）	・気温の上昇によって衣料品の売上がどこまで回復するか、見通しが立たない。
<input type="checkbox"/>	百貨店（経営者）	・年金や物価高の話題が連日ニュースで取り上げられているため、消費マインドは更に低下していく。お中元は送り先の絞り込みやギフト自体の取りやめなどが予想され、百貨店のメインターゲットであるシルバー層の消費は更に鈍くなるとみている。
<input type="checkbox"/>	百貨店（催事担当）	・全館リニューアルオープンの効果が売上に現れている。しかし、依然として生活防衛意識は高く、生鮮品を中心に食料品が不調である。今後も予断を許さない状況は続く。
<input type="checkbox"/>	百貨店（従業員）	・物価高がいつまで続くかなど先行きが見えないなか、生活防衛意識は高いままで変わらず、購買行動に変化はないとみている。
<input type="checkbox"/>	スーパー（経営者）	・備蓄米の需要の高まりからみても、消費者の低価格志向は続くともみている。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・ゴールデンウィークを過ぎた頃から売上は一定の水準で落ち込んでいる。その傾向は今後も変わらないとみている。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・物価高が続くため変わらない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・良くなる要因は見当たらない。このままの状態が続くとみている。
<input type="checkbox"/>	スーパー（企画担当）	・政府による米の需給対策やガソリン価格の状況によっては上向きに転じる。ただし、米国の関税政策の影響への懸念もある。
<input type="checkbox"/>	スーパー（企画担当）	・物価高になれば客が購入数量を減らすのは当然である。小売業においては、価格上昇分を売価に転嫁できない限り経営は苦しくなる。
<input type="checkbox"/>	スーパー（商品担当）	・米の価格が低下し相場が安定すれば、節約志向は和らいでいくと考えるが、米の平均価格が下がるかは現時点で確定していない。3か月後の状況は変わらないか、若干良くなるとみている。
<input type="checkbox"/>	スーパー（業務担当）	・現状から大きく変わる兆候はない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店舗運営）	・販売環境に大きな変化はない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・当面は現状のまま変わらないとみている。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・人の動きは変わっておらず、物価も上がっているため、全体的に横ばいが続くともみている。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	・外的要因による変化はなく、好調は変わらないとみている。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	・来客数が増加しないなか売上が上がっているのは、単純に値上げの効果である。景気が回復したとは考えていない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	・景気は徐々に悪化している。税金等の払込みにおいて1年分をまとめて払う人が多いことも、確実に払わなければならないところから払うという意識が働いているためとみている。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	・仕入価格の上昇で今後の見通しが立てにくく、お中元商戦の売価設定に苦慮している。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店長）	・天候に大きな変化がない限りは変わらない。しかし、軽装化が進み、スーツを着ない人が更に増えることを懸念している。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店長）	・物価高に連動した賃上げが進まない限り、個人消費の不安定な動きは変わらない。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（総務担当）	・2025年のベースアップ実施企業は僅かながらも増加しているが、物価上昇分をカバーするには至らない。この状況は今後も変わらないとみている。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（従業員）	・良くなる材料が見当たらない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・モデルチェンジ後、生産オーダーを開始しても、納期に時間が掛かれば、景気はすぐには良くならない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・配車量が極端に増えない限りは変わらない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・決算期を迎える。

□	住関連専門店（インテリアコーディネーター）	・物価は高くなる一方で、短期的に景気が良くなることはないともみている。
□	その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕（経営者）	・購入チャンネルの多様化の影響か、注文数の減少が続いている。地元企業の顧客離れもあり、ばん回は厳しい。非常に厳しい状況が続くとみている。
□	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・世界情勢に振り回されていることに加え、燃料油価格の補助事業の変更により、販売価格の変動が激しくなることが予想される。それに対し、補助額は定額となったため見通しが立たない。
□	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・配達灯油は閑散期になるため、販売量の伸びは見込めない。
□	一般レストラン（経営者）	・外食の頻度が減っているため変わらない。
□	一般レストラン（経営者）	・消費者が物価高は当たり前と考えるようになるまでは、景気は良くなる見込みはない。
□	一般レストラン（スタッフ）	・ランチタイムの来客数は高齢の常連客で維持しているが、ディナータイムは今後も増加は見込めない。
□	観光型ホテル（スタッフ）	・好転要因が見当たらない。
□	観光型旅館（経営者）	・好転要因が見当たらないため、物価高に慣れるまでは、手控え感が強い状況は変わらないとみている。
□	観光型旅館（スタッフ）	・夏休み期間に入るため、例年であれば景気は良くなるどころだが、物価高が続く限り良くなることはない。
□	都市型ホテル（スタッフ）	・インバウンドは梅雨の時期や暑い時期は減る。一方で、国内需要はあるため、余り変わらないとみている。
□	旅行代理店（従業員）	・物価高騰、国際情勢などの不安要素がある。
□	旅行代理店（従業員）	・当社契約宿泊施設のこの先3か月の先行販売額は、前年とほぼ変わらない。
□	タクシー運転手	・7月はコンサートなどのイベント、8月は夏祭りや墓参りなどで利用者があるため、今月並みの利用者数が見込める。
□	通信会社（経営者）	・インターネットサービスは、競合他社との価格競争がますます激しくなるため、大きい伸びは期待できない。今後は放送、通信加入者向けに激安携帯電話サービスとのセット加入を売り込んでいく予定である。大幅な増収は見込めないが、解約は防止できるものと期待している。
□	通信会社（営業担当）	・好転する材料に乏しく、改善は難しい。
□	通信会社（営業担当）	・経費の増加以上に収入が増加しない限り、社員の給与は上がらない。
□	美容室（経営者）	・常連客のみで新規客が増えないため変わらない。
□	住宅販売会社（経営者）	・新築住宅の受注見通しは良くないが、再生可能エネルギー施設関連用地の不動産仲介依頼が増えている。
▲	商店街（代表者）	・物価上昇が止まらない。
▲	商店街（代表者）	・円高と米国の関税政策の影響で、インバウンドの売上が急降下している。
▲	コンビニ（経営者）	・気温の上昇で人の動きが良くなると思ったが、来客数は伸びていない。6月から商品も値上がりするため、景気が上向くことはない。
▲	コンビニ（経営者）	・物価の上昇に収入が追い付いていない。現状が改善する要素が見当たらない。
▲	衣料品専門店（経営者）	・洋服は季節を先取りして販売するため、夏本番の時期に夏物商材を充実させることは難しく、購入は止まる。秋物はまだ動かないことが予想される。
▲	衣料品専門店（経営者）	・物価高騰の継続により、節約ムードが更に高まるとみている。
▲	衣料品専門店（店長）	・物価上昇が続き、特に食品関連の影響が大きいとみているため、消費者は買物にますます慎重になる。
▲	乗用車販売店（従業員）	・新車の商談数や販売量が例年より少なく、中古車の動きは良くなっていることから、景気はやや悪くなるとみている。
▲	自動車備品販売店（経営者）	・実質収入が落ち、米の価格が高止まりしているため、食費以外の支出は絞られるとみている。
▲	その他専門店〔靴〕（経営者）	・近隣のショッピングセンターの新規オープンやリニューアルにより、来客数に影響があるとみている。

	▲	高級レストラン（支配人）	・例年、夏から秋にかけては低い水準で横ばいが続くため、現状よりやや悪くなるとみている。
	▲	観光型ホテル（スタッフ）	・来客数が改善しなければ、景気が上向くことは期待できない。
	▲	旅行代理店（従業員）	・宿泊券販売額は、東北エリア内だけでなく、東京・北海道・大阪・九州各方面いづれも前年比マイナスである。
	▲	タクシー運転手	・利用者数の減少が続くとみている。
	▲	観光名所（職員）	・客単価の上昇により売上は何とか維持している。しかし、ゴールデンウィークの客入りをみても、消費が少し控えられているようであり、景気は若干落ち込むとみている。
	▲	遊園地（経営者）	・物価上昇が家計の負担になっている。米国の関税政策による輸出への影響も含めて、消費の勢いが戻る見通しが立たない。
	▲	競艇場（職員）	・今月は大口客の利用が多かったが、それが続くことはない。続いたとしても売上が今月を上回ることはないとみている。
	▲	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・米国の関税政策による先行きの不透明感や金利の引上げにより、買い控えがみられる。
	▲	その他サービス〔寮管理〕（管理人）	・東北では人口の減少に加え、企業の倒産件数も増加している。政治が不安定なこともあり、景気はやや悪くなるとみている。
	×	商店街（代表者）	・来月以降の予約が全く入っていない。この先、景気はかなり悪くなると予想している。
	×	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・現在、備蓄米が5キロ2000円で販売されるとか、光熱費やガソリン代に補助金が出るといった良い話が出ている。しかし、3か月後は首長選挙や参議院選挙があり、消費活動は活発にならないため、更に悪くなるとみている。
	×	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・商品の価格上昇は、これ以上はないと思ったところから更に続いている。米の価格も、今以上には上がらないとは言い切れない。米価が落ち着かなければ、生活防衛意識は更に強くなることが予想される。
	×	スーパー（経営者）	・備蓄米が放出されたとはいえ、地方や中小のスーパーではその米が買えない。また、食品の値上げも続く。
	×	その他専門店〔酒〕（経営者）	・米の異常な価格高騰の影響が徐々に出てきている。日本酒等の主原料となる米の原価が高騰しているが、販売価格に転嫁できず困っている。米の価格を一刻も早く5キロで2000円の適正価格に戻さなければ市場に悪影響が出てくるとみている。
	×	一般レストラン（経営者）	・米国の関税政策への不安や変動金利の上昇による影響は大きい。消費の原資を減らすことにつながるため、当面は景気が悪くなる。
	×	設計事務所（経営者）	・地域的に官公庁に依存している企業も多く、物件単価は上昇しているが、それ以上に人件費、外注費、競合先とのダンピング競争が厳しい。結果、低価格での受注を余儀なくされ、利益を確保できない。
企業 動向 関連  (東北)	◎	—	—
	○	農林水産業（従業者）	・備蓄米の放出により米価は下がるとみられていたが、それほど下がっていない。2025年度の新米の概算金も、前年度より高くなる見込みである。
	○	経営コンサルタント	・政府が言う備蓄米の店頭価格2000円が実現し、それをきっかけに消費の安心感が広がることを期待している。
	□	食料品製造業（営業担当）	・新商品の投入やキャンペーンの実施により、落ち込んだ分をカバーしていく。
	□	食料品製造業（製造担当）	・支払いが高額と低額の客で2極化している。また、店舗間でも売上伸長と停滞の店舗がはっきりと分かれている。米や資材の価格高騰等により、価格改定とコストカットの問題が常に付きまとう。
	□	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・物価高騰のあおりで、需要はますます減るとみている。
	□	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・効率化を進め、ペーパーレス化やデジタル化にかじを切らない限り、紙ベースの印刷や旧態依然の業務だけでは生き残れない。デジタル化の遅れが致命傷になりかねない。
	□	金属製品製造業（経営者）	・米国の関税政策への警戒感が強まっており、受注拡大の雰囲気を相殺してしまう可能性がある。

	<input type="checkbox"/>	一般機械器具製造業（経営者）	・今のところ受注量は横ばいだが、先行きは不透明である。新規案件の話題も少ないため、2～3か月後の状況は変わらないか、やや悪くなるとみている。
	<input type="checkbox"/>	一般機械器具製造業（経営者）	・米国の関税政策の影響で、客が設備投資に慎重な姿勢を見せている。
	<input type="checkbox"/>	電気機械器具製造業（総務担当）	・取引先の動向から、まだ横ばいが続くとみている。
	<input type="checkbox"/>	輸送用機械器具製造業（経営者）	・事業部別で動きに変化が出てきている。電子デバイス事業は下振れの可能性がある。半導体関連事業は秋以降に復調を見込むものの、いまだ先は見えていない。
	<input type="checkbox"/>	建設業（従業員）	・受注量は増えてきているものの、価格高騰がどこまで影響するのかわからない状況である。
	<input type="checkbox"/>	建設業（従業員）	・資材の価格高騰が続いているため、景気は変わらない。
	<input type="checkbox"/>	建設業（従業員）	・豊富な営業財産がある。今後も建設需要が減ることはないともみている。
	<input type="checkbox"/>	輸送業（経営者）	・製造業の主要取引先の生産量がなかなか回復しない。消費が伸びないことが大きな要因だが、これはしばらく続くとみられる。米国の関税政策の影響で取引先の受注が減ることが懸念されるなか、プラス要因がみえてこない。
	<input type="checkbox"/>	通信業（営業担当）	・当社の通信インフラの価値を再認識してもらえよう、働きかけを継続していく。
	<input type="checkbox"/>	金融業（広報担当）	・夏祭りが近づくなか、地域やインバウンドの盛り上がりが見込める。しかし、国内外の経済政策が地域経済に与える影響を考えると、現状程度の景気水準で推移するとみている。
	<input type="checkbox"/>	広告業協会（役員）	・先行きの経済環境が不透明であり、必要最低限の販売促進費にとどめる企業が多い。広告業界の業績は当面微減で推移する見込みである。
	<input type="checkbox"/>	広告代理店（経営者）	・外的要因の影響が大きいとみている。様子見が続くとみている。
	<input type="checkbox"/>	その他非製造業〔飲食料 品卸売業〕（経営者）	・米価の高止まりなどネガティブな要素ばかりで、消費を喚起するポジティブな要素が見当たらない。
	<input type="checkbox"/>	その他企業〔企画業〕 （経営者）	・観光客の入込は天候に左右されるため、先が見通せない。
	<input type="checkbox"/>	その他企業〔協同組合〕 （職員）	・米国の関税政策により、様子見や事業の見直しをする発注元があるため、受注案件の流れが悪くなっている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	農林水産業（従業者）	・今年は果樹を中心に、開花の時期に低温だったためか結実が悪い傾向にあり、収量が減る可能性がある。価格が大幅に上がることになれば、消費にも影響が出る。
	<input checked="" type="checkbox"/>	建設業（従業員）	・案件契約に至るまでの金額交渉等で遅延するケースが増えている。受注契約には至るものの、これまでより期間売上が低下する可能性が高くなる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	通信業（営業担当）	・サービス料金の値上げに伴い、客からはネガティブな声も聞こえている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	通信業（営業担当）	・米国の関税政策が間接的に影響する可能性がある。
	<input checked="" type="checkbox"/>	司法書士	・管轄登記所の登記受付件数が前年同月比で5%減少している。
	<input checked="" type="checkbox"/>	公認会計士	・製造業は売上が上がらず、業績は良くない。建設業も受注が厳しいとの話が出ている。小売業、サービス業の業績がある程度良くても、全体として景気は悪くなるとみている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	コピーサービス業（従業員）	・政治経済が混とんとしており、倒産も増えている。
	<input type="checkbox"/>	窯業・土石製品製造業 （職員）	・公共事業、民間事業共に受注量が減少しており、厳しい状況は続くとみている。
雇用 関連 (東北)	<input checked="" type="checkbox"/>	*	*
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（社員）	・特に専門職の採用は動きが良く、条件を満たす求職者を確保できれば支援数の増加につながる。ただし、求職者の動きに左右されるというリスクもある。
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（経営者）	・当地では米国の関税政策の影響を目の当たりにすることは余りなく、景気がやや良い状態から下がる様子はみられない。求人においては、採用しづらい状況がしばらく続くとみている。
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（社員）	・一部のエリアにおいては良化傾向がみられるものの、この先も続く見通しは立っていない。
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（社員）	・求人状況や求職者の動きに変化はみられない。

□	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・広告に少しずつ動きが出ているが、景気は当面変わらないとみている。
□	職業安定所（職員）	・物価高の不安と影響がなくならなければ消費拡大の期待は持てず、求人にもつながらないとみている。
□	職業安定所（職員）	・新規求人数の推移から、有効求人数は前年と同程度で推移する見込みである。
□	職業安定所（職員）	・人手不足感のある状況が続いている。しかし、求人をやめる事業所も出てきており、様子見の状況がうかがえる。
□	学校〔専門学校〕	・諸外国の情勢から大きな期待はできない。
□	その他雇用の動向を把握できる者	・物価高が続く限り現状は変わらない。
▲	人材派遣会社（社員）	・米国の経済政策の影響が見通せず、特に輸出の比重が高い企業に停滞感が出てくるとみている。
▲	アウトソーシング企業（経営者）	・AIの進化による仕事量の減少が予想される。
▲	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・物価高騰に歯止めがかからず、企業経営も更に悪くなることが予想される。
×	*	*